



ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を

2013~2014 年度 RI 会長
RI 第 2730 地区ガバナー
鹿児島市内分区ガバナー補佐

ロン D. バートン
大迫 三郎
飯野 和男・有村 茂樹

週報

鹿児島東南ロータリークラブ

会長 上田平 重樹 副会長 井料 長敏 幹事 山田 忠茂
(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10
サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020
(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10
サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622
E-Mail info@tounanrc.jp ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2169 回 No.28
平成 26 年 1 月 28 日 (火)
本日のプログラム
「外部卓話
株式会社アナウンスメント
代表取締役 柿元美保 様」

第 2168 回例会報告

会長挨拶

会長 上田平 重樹

みなさん。こんにちは！寒いですね。風邪などひかないように気をつけていきましょう。先日、本棚の整理をしていたら、南米チリでできた友人からもらった本が出てきました。この人は日本人でブラジルのホンダの技術者として日本から転勤してきており、南米市場向けの自動車開発をしているとのことでした。この子とパタゴニアでペンギンを見に行った時にたまたま隣にいた日本人の女性の方と友達になり3人でレストランで食事をとりました。話をしているうちにこの女性は鹿児島出身で同じ伊集院高校を出ていると聞きびっくりしたという思い出があります。もちろん今も FACEBOOK でつながっており、いつでも遊びにいけます。技術のおかげで国境の差はなくなっておりますが世間は狭いと言えるのは行動あるのみだだと思います。ちなみにももらった本はアマゾン源流をさかのぼるという本でした。さて、西南ロータリークラブより合同例会の連絡がきております。2月25日(火)はどうかの事です。

ゲスト・ビジター紹介

今回は、ございません。

会務報告

○2014年3月の台湾訪問について
訪問日程が台北側の都合により変更となりました。
<変更前>2014年3月21日(金)～3月23日(日)
<変更後>2014年3月28日(金)～3月30日(日)

○下期会費のご連絡文をお送りしてございます。

今月いっぱいでご持参もしくはお振込お願い致します。

出席報告

会員数	31名	前々回出席者	19名
出席免除	0名	メイクアップ	3名
出席会員	22名	出席訂正率	73.3%
出席率	70.96%		

スマイル報告

☆寶來春巳君-1月17日日比谷公会堂にて交通安全国民運動全国大会があり、警察庁長官米田莊名の緑十字銀章を受章しました。

☆若松利秋君-誕生日祝いありがとうございます。新工場ブランドオープンと創業30周年祝賀会を3月7日に予定しています。年度末の大変お忙しい中、ご迷惑では...と相当悩みましたが東南ロータリー全員の方にご案内致しました。出席できる方はよろしくお祈りします。

☆飯野和男君-誕生祝い結婚祝いをいただきました。ありがとうございました。

本日計 14,000 円 累計 217,000 円

本日のプログラム

「フリートーク～4月20日新世代のためのロータリー会議について」青少年委員長 渡海谷宗宜



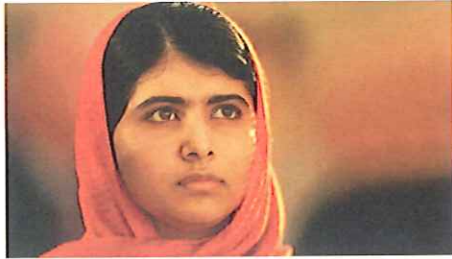
●鹿児島東南ローターアクトクラブ 例会

鹿児島ローターアクトクラブ 合同による例会

日時：2014年1月28日（火）20時～

場所：青少年会館（予定）内容：合同スポーツ大会について

○私は一人の女の子 マラさんの思い～1/2



国際ローター HP より

ここは、パキスタン北部、カシミール地方とカイバル州の間にあるスワト渓谷。かつては、行政長官ミンゴル・アブドゥル・ハック・ジ・エハズビの管理下に置かれ、豊かさや平和に満ちた生活が営まれていました。ジ・エハズビは近代化を進め、男女両方に開かれた学校を建設、自動車では行くことができない遠隔地にも行政の手を届けました。「雲を突き抜けるように山がそびえる、美しく汚れなき理想郷。人びとは、この地をシヤンガラ（伝説の理想郷）と呼びました」そう振り返るのは、ジ・エハズビの孫娘であるゼブ・ジラさんです。地元の人びとから、今でも"プリンセス・ゼブ"と呼ばれます。小さい頃に緑色に輝く石で遊んだ思い出を偲ぶジラさん、かつては家族が所有する鉱山でエラルドが採れたそうです。しかし、1969年、スワト地方の主権はパキスタン政府に渡り、同地方は下降線をたどることになります。さらに、2008年には列バンの政権が台頭し、その後の2年間、人びとは厳格なイスラム法によって支配される生活を強いられました。政治的に敵とみなされた者は拘束され、斬首刑や鞭打ちの刑に処された人もいました。公開処刑が行われ、女性への暴力が横行し、学校も破壊されました。ジラさんは1979年、生活の場を米国へと移しました。その後も年に1度帰国していますが、生まれ故郷が侵略される様を目にするのはとても辛いと話します。エラルド鉱山から得た財産もなくなってしまいました。しかし彼女は、一から集めたお金で学校を建設し、スワトからの難民のためにシェルターと薬品を提供、さらに、スワト地方に初のロータークラブを創設しました。

教育への思い

クラブへの入会を呼びかけた最初の人たちの中に、教育者で活動家でもあるジ・アデイン・ムスタファさんという人がいました。彼の娘は、今や世界の人となった、マラ・ムスタファさんです。15歳の

とき、既に優等生として一目置かれる存在だったマラさん。青い制服を着て、科学、数学、イスラム教育、英語、ウルドゥ語の授業を受ける一方で、パシュトゥ語の詩から冒険物語にいたる幅広い書物を読んでいました。ウルドゥ語で書かれた彼女のブログには、パキスタン軍と列バンの争いや、上空で大きな音をあげる武装ヘリコプターなど、列バンの影響下に置かれた生活に関する記述がありました。また、不足する書物、自分の夢、お気に入りのピンクの服、そして教育を受けられない日がある可能性などについて、彼女の思いが刻々と綴られていました。ある日のブログには、次のようなメッセージが書かれています。「列バンのが、女子の学校教育を禁止する法令を出しました」「私は教育を受けます。私たちは全世界をお願いします。私たちの学校を、スワトの地を守ってください」ブログでは、グル・マイというパキスタン民謡の英雄の名を使用し、本名を名乗ることはできませんでした。マラさんの父親も、スワトの伝統を守ることに力を入れていました。パキスタン政府が同地域での統制を部分的に取り戻した後の2010年、彼が所属する ミンガラ・スワト・ロータークラブ 主催の音楽イベントの準備に加わっていました。列バンの台頭後では初めての音楽行事だったため、ローターは皆、イベントの開催を強く誇りに感じていました。「まだ列バンの影響下にあったので、開催には大きな勇気が必要とされた」と、彼は振り返ります。「脅しや暗殺が頻繁に起きていたため、何が起こるか分かりませんでした。でも、結果的に素晴らしいイベントにすることができました」

次週は「マラさんを襲った悲劇」を掲載致します。

☆メンバーキャップ(記憶)できます。			
2/4 国際奉仕委員会		2/11 祝日休会 (建国記念日)	2/18 外部卓話又は新入 会員卓話
月/日	クラブ	例会場	プログラム(☆変更)
1/29 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	卓話 米山奨学生 陳麗様
	鹿児島西	山形屋	ゲスト卓話 日本ガス(株) 代表取締役 津曲貞利様
	鹿児島南	ゆうづき	夜の例会
1/30 (木)	鹿児島東	山形屋	会員卓話
	鹿児島北	インプラントホテル	会員卓話
	鹿児島中	鹿児島東急イ	会員卓話
1/31 (金)	鹿児島	山形屋	クラブ協議会
2/3 (月)	鹿児島中	山形屋	会員卓話 「年男年頭所感」
2/4 (火)	鹿児島南	鹿児島東急イ	ゲスト卓話 鶴丸城御楼門建 設の意義について 鹿児島西 RC 藤安秀一会員